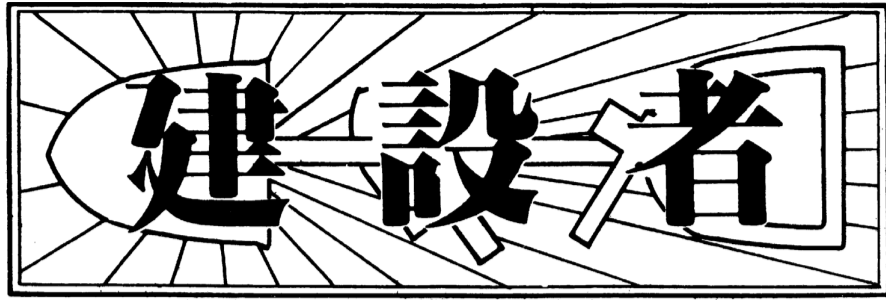


今月の葛飾組織現勢

2023年7月1日	4,259人
加入	41人
転入	1人
脱退	98人
転出	3人
2023年8月1日現在	4,200人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4  
 電話 (5698) 1 2 6 1  
 FAX (5698) 1 2 6 2  
 発行人 関根伸正

予算要求夏の陣

物価高騰から仕事とくらしを守れ

銀座の街でシュプレヒコール

【社会保障対策部 担当小野書記】7月7日(金)、午前6時前、日比谷野外音楽堂での全建総連による夏の予算要求中央総決起大会を開催。「物価高騰から仕事とくらしを守れ」の声を上げてきました。

成・強化、消費税のインボイス(適格請求書)制度導入見直し・延期など政府予算要求の実現に向けてのシュプレヒコールを銀座の街に響かせました。

区内でも行動 都費補助求め

都議へ要請

葛飾支部からは糸賀社会保障対策部長を先頭に28名の仲間が参加しました。集会後の東京駅までのデモ行進においては、35℃を超える猛暑日となりましたが、賃金・単価の大幅引き上げ、建設国保の育

建設国保の安定運営に、国や東京都の補助金は不可欠で

す。6月27日には、葛飾支部として、都議会議員賛同署名を頂くために、糸賀社会保障対策部長・山屋書記長・小野担当書記の3人で各都議会議員(葛



和泉都議事務所を訪問 (右:糸賀社保対策部長)

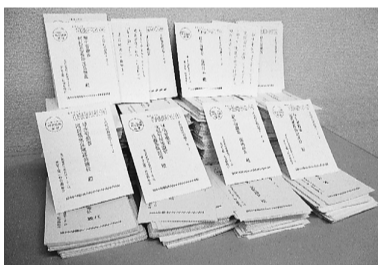


東京駅までデモ行進

飾区選出)を訪問しました。制度維持の為全員からの賛同署名を獲得し、都知事に提出します。

今月は 対都ハガキ

ハガキを 書こう



集まった厚労省宛要請ハガキ

補助金確保において組合員全員で出来る運動としてハガキ要請行動に取り組みます。8月からは東京都に対してハガキ要請行動に取り組みます。ハガキ要請行動は長年にわたり取り組んできた極めて重要な運動です。組合員の想いがこもったハガキが建設国保育成・強化の大きな力となります。1組白員1シートのご記入をお願いします。

【ハガキ要請行動】

- ハガキシート組織人員分を目標に取り組みを進めます。
- 東京都宛ハガキ要請
- 8~9月の取り組み
- 財務省宛ハガキ要請
- 10~11月の取り組み

対区要請行動

担い手確保のための 取り組みを求める

毎年行っている対区要請行動。今年も7月中旬に葛飾区

へ東京土建葛飾支部としての要望を提出しました。建設業における将来の深刻な担い手不足が予測される中、若手入職者を増やす、離職者を出さないためにも、区としても建設業に対してしっかりと取り組んでもらえるように要望しています。

8月には葛飾区役所各課及び、区議会各会派と葛飾支部役員との話し合いの場を設けて、要請を進めます。主要な望事項は、①リフォーム助成、②耐震助成、③アスベスト対策、④公契約条例、⑤建設業の担い手確保などです。

働き方改革関連法 労働時間の管理が重要

来年の2024年4月1日から働き方改革関連法が建設業にも全面適用されます。他産業ではすでに適用されている関連法、時間外労働の上限規制の適用が建設業でも来年4月から始まることとなります。従業員を雇用する事業所は対応準備を進める必要があります。

この対応には、労働時間の記録、管理が特に重要になります。働き方改革関連法に伴い、事業主が具体的に対応しなければならぬ内容として、左記の項目をチェックしましょう。

- 雇用締結の書面の作成(労働条件通知書・労働契約書・雇入通知書など)

- 法定三帳簿の作成(労働者名簿・賃金台帳・出勤簿)及び保管
- 従業員の労働時間(始業・終業・休憩時間)の記録・管理
- 36協定の届出及び、割増賃金の支払い(残業を指示するために労働時間36協定の締結が必要)
- 有給休暇の年5日間の取得
- 時間外労働の割増率UP
- 時間外労働の上限規制への対応

7月25日は、葛飾区の花火大会が4年ぶりに再開となり、2万発の花火が夜空を彩った。コロナ以前の賑わいのある夏の到来を感じたのではないだろうか。一方で連日の報道をにぎわすのは「酷暑」であろう。体温を超える日中の温度と涼しさのない熱帯夜。生命に危険を及ぼしかねない気温である。特に私たち建設業に従事するもの、とりわけ屋外作業に従事するものにとっては、重要な問題である。ここでさらに心配なのは将来の担い手不足が深刻である建設業の姿である。このような過酷な労働環境である建設業ではあるが、夢のある産業に、若者が希望をもって従事できる産業により早く変革していく必要性に迫られているのではないだろうか。

7月28日には中央最低賃金審議会の中で2023年度の最低賃金が過去最大の上昇幅で、全国平均1002円となった。労働組合として賃金引き上げの運動は、なくてはならない大きな取り組みである。最低賃金が上がることは喜ばしいことではあるが、建設業においては将来へつなげる産業にするためにもさらなる賃金の引き上げが必要になる。葛飾区においても実務型の公契約条例が制定されることで、建設労働者の賃金引き上げにつながることを期待できる。今年も葛飾区と区議会各会派への要請行動を予定している。条例制定に向けた運動の積み重ねで、将来に繋がる建設業、明るい未来を展望したい。

寅さん

7月25日は、葛飾区の花火大会が4年ぶりに再開となり、2万発の花火が夜空を彩った。コロナ以前の賑わいのある夏の到来を感じたのではないだろうか。一方で連日の報道をにぎわすのは「酷暑」であろう。体温を超える日中の温度と涼しさのない熱帯夜。生命に危険を及ぼしかねない気温である。特に私たち建設業に従事するもの、とりわけ屋外作業に従事するものにとっては、重要な問題である。ここでさらに心配なのは将来の担い手不足が深刻である建設業の姿である。このような過酷な労働環境である建設業ではあるが、夢のある産業に、若者が希望をもって従事できる産業により早く変革していく必要性に迫られているのではないだろうか。

# 共済推進学習会 組合員メリットの活用を

【厚生文化担当 石井書  
7月21日(金) 厚生文化



各種共済・保険制度を学習

部主催の共済推進学習会を支部会館3階にて行いました。厚生部員を含む13人が参加

し、講師を招いて各種共済、保険制度について学習会を行いました。

内容については、左記の通りそれぞれの分野から講師を呼び充実した内容の学習会となりました。

①東京都火災共済からは、担当の早川氏から、どげん火災共済ではカバーできない法人契約ができる火災共済などについて

②トータル保険サービスからは、同社の佐々木氏より、

③林保険事務所からは、同事務所の林氏から、個人賠償もついた2種類の型(個人・家族)がある自転車保険につ

いて

④どげん共済会からは、本部山本書記から、どげん共済の取り扱う火災・地震共済について安い掛金でかけられる魅力について

これらの制度は、組合員であるからこそ安い掛金で保障を受けられる魅力的な制度になっています。組合員・家族の日常を守る為にも各種共済・保険制度の見直しをご検討いただき、興味を持った方は是非葛飾支部までご連絡ください。

がんで公的医療保険が使えない自由診療などにも対応できる手厚いアフラックのがん保険制度について

	2023年 1月1日付	2023年 8月1日付	1月比 増減	夏 日常拡大 目標	夏 日常拡大 加入数	パーセ ンテージ	夏の日常拡大 成果表 8月1日現在												増減
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
たつみ	478	482	4	12	13	108%	●●●●●●●●●●●●●●	●	増減◎4										
奥戸	384	383	-1	10	6	60%	●●●●●●●●		増減▼1										
本田立石	324	319	-5	8	3	38%	●●●		増減▼5										
青戸	147	145	-2	4	2	50%	●●		増減▼2										
中央	382	378	-4	10	3	30%	●●●		増減▼4										
堀切	262	251	-11	7	2	29%	●●		増減▼11										
亀有	383	386	3	10	5	50%	●●●●●●●●		増減◎3										
細田高砂	377	378	1	9	15	156%	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●	増減◎1										
柴又	176	175	-1	5		0%			●●	増減▼1									
新金町	299	292	-7	7	5	57%	●●●●●●		増減▼7										
北水元	182	182	0	5	4	80%	●●●●●		増減0										
幸田	271	269	-2	7	3	14%	●●●		増減▼2										
水元	377	381	4	10	5	40%	●●●●●●		増減◎4										
その他	179	179	0	4	1	25%	●		増減0										
合計	4221	4200	-21	108	67	62%	6月16人 7月41人 8月10人					合計=67人							

1月1日付人員比 21人減

# CCUSレベル判定 来年3月末までに判定を

野丁場を中心に全国でキャリアアップシステム(CCUS)の技能者登録が進んでいます。一方で、自身の技能を証明するためのレベル判定については、レベル判定を行わず登録当初のレベル1の状態のままの方が多くを占めます。

このような登録状況の中ではありますが、来年2024年3月末までにレベル判定を受けないと、自身の就業履歴の蓄積に大きな影響がでることになります。期限内にレベル判定をしないで、24年4月以降にレベル判定をしてもCCUS登録前に遡った経歴

歴・就業履歴登録ができず、その証明ができなくなります。つまり、上位資格を保有していてもレベルを上げる能力評価に必要な就業日数の蓄積が遡ってできず、カードタッチ数でのみ判定するため多くの年数がかかることになってしまいます。そうならないためにも、白カードを所持されている方は、レベル判定を24年3月末までに受けるようにしましょう。

職種によっては東京土建で対応できない職種もあります。ご不明な点は、葛飾支部までお問い合わせください。

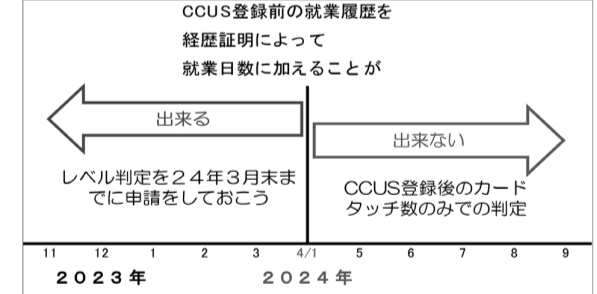
# 夏日常拡大

細田高砂 6人超過達成

8月の葛飾支部の登録人数は4200人。今年1月の登録人数に対して21人の減少となっています。今年こそは1年間をかけて組織実増をめざそうと取り組んでいます。現在8月までは夏の日常拡大月間として、組合員を増やす取り組み期間中です。統一行動日は設けませんが、周りに労災保険など、現場に入るため

組織人数が増えることは組織の力にもつながります。多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきたいでしょう。

現在、夏の日常拡大月間の成果分会は12分会。目標数は108人、新規の加入数は67人。細田高砂分会が加入目標を早々に達成し、なおかつ6人の超過で15人の加入数。続いてたつみ分会が12人の目標に対して13人の加入者をむかえ1人超過の達成となっています。



公式LINE登録しよう  
南葛SCチケット情報も配信中



# 熱中症注意の季節 こまめな水分補給を

地球温暖化の影響であるても、こまめに水分補給とのか酷暑が続いています。 休息を入れて、熱中症にないよう新型コロナウイルスへの対応 策のためのマスクも、熱中に気をつけ 症のリスク上昇が懸念され ます。

マスク着用が必須であっ

